



天文台だより

銀河の森天文台
2025 秋号
Vol.109

第14回陸別スターライトフェスティバル大盛況！



講演会でお話するJAXA宇宙科学研究所 (ISAS) 副所長 津田 雄一 教授

7月5日(土)、第14回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。JAXA宇宙科学研究所(ISAS)副所長 津田雄一教授による講演会「はやぶさ2の挑戦～小惑星のかけらを求めて～」では、未知の小惑星に挑むはやぶさ2の道のりについて、驚きあり、笑いあり、そしてたくさんの感動がちりばめられた話を聞かせていただきました。質疑応答の時間では、目を輝かせた来館者の方々からたくさんの質問が寄せられ、会場が熱気に包まれました。

10/18(土)、「北海道・星見人の会2025」を開催します！

10月18日(土)、北海道の星好きな方々が集まり、交流を深める会「北海道・星見人の会2025」が銀河の森天文台で開催されます。

星見人の会は誰でも参加できますが、事前参加予約と参加費がかかります。詳細は当館HPをご覧ください。

「館長コラム」

近年、道路わきに黄色の大きな菊のような花を見かけたことはありませんか。中央がこげ茶色で花弁が鮮やかな黄色で群生するので気がつかれた方もいると思います。

これは、オオハンゴンソウという多年草で特定外来生物に指定されています。この特定外来生物は、種を採取したり草本体を抜きとって移動することは法律で禁止されています。繁殖力が高く群生するので、在来種を駆逐してしまいます。見かけたら抜き取って、枯らせてしまうしかありません。

花の目立つ植物の変化には気づきますが、例えば牧草畑でチモシーに似たメドウフォックステイルの侵入は、気が付いた時には既に手遅れとなり牧草としての価値がなくなるといったことが起こっています。身の周りの自然環境に気を付けるといろいろな変化が見えてくると思います。



館長 津田浩之(双子座)

秋のイベント情報 !!

☆中秋の名月観望会

中秋の名月の10月6日にあわせて観望会を開催します。

開催日：10月5日(日)、6日(月)：特別開館

説明会：午後7時30分から

☆ハロウィーンナイト観望会

ハロウィーンにちなみ、観望会を開催します。観望会では、おばけみtainな星座や天体をご案内します！期間中、仮装してご来館いただくと、先着順でお菓子のプレゼントを差し上げます。

開催日：10月25日(土)～31日(金)

☆驚き！おもしろ科学実験2025

名古屋大学、北見工業大学、足寄動物化石博物館など、1階展示室に様々な実験ブースが出展します。

入館料のみで参加できますので、ぜひご来館ください。

開催日時：11月8日(土) 午後1時～午後6時

☆ふたご座流星群観望会

ふたご座流星群が12月14日の午後5時に極大時刻を迎え、これに前後して流星が多く見られると予想されるため観望会を開催します。

開催日：12月13日(土)、14日(日)

説明会：午後7時30分から

暦表 (陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:18	17:10	9.3	14:11	23:00
10月15日	5:35	16:46	23.3	23:45	14:09
11月 1日	5:56	16:20	10.6	13:59	0:17
11月15日	6:14	16:04	24.6	1:01	13:38
12月 1日	6:33	15:54	10.8	13:04	1:38
12月15日	6:46	15:53	24.8	2:04	12:38

天文行事&暦

10月

- 5,6 中秋の名月観望会
- 6 特別開館、中秋の名月
- 7 ○満月
- 8 振替休館
寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 18 北海道・星見人の会2025
- 21 ●新月
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 25-31 ハロウィーンナイト観望会
- 30 水星が東方最大離角
(光度:-0.1等, 離角:23°.53)

11月

- 5 ○満月
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 8 驚き! おもしろ科学実験2025
- 18 しし座流星群が極大
(AM3時 最大20個/時)
- 20 ●新月
- 21 天王星が衝
(光度:+5.6等, 視直径:3".8)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 24 土星の環が傾き0°.37で極細

12月

- 5 ○満月
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 8 水星が西方最大離角
(光度:-0.4等, 離角:-20°.44)
- 13, 14 ふたご座流星群観望会
- 14 ふたご座流星群が極大
(PM5時 最大60個/時)
- 20 ●新月
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)

暮らしと宇宙「レモン彗星」

レモン彗星(C/2025 A6 (Lemmon))が急激に明るさを増し、肉眼で見える彗星になるのではないかと話題になっています。レモン彗星(C/2025 A6 (Lemmon))は、“2025”年の“A”=1月前半の“6”番目に、レモン山天文台で発見された彗星です。

彗星の本体(核)は汚れた雪だるまによく例えられ、8割程が水の氷で、残りはその他の氷やダストからできています。彗星が太陽に近づくと、熱で揮発し明るくなります。レモン彗星は今年11月8日に、約0.53au※まで太陽に近づき、10月中旬～11月上旬に見ごろを迎えます。※au:距離の単位。1auは約1億5千万kmで、地球と太陽の間の平均距離にほぼ等しい。

さて肉眼で見える彗星といえば、昨秋に美しい姿を見せてくれた紫金山・アトラス彗星(C/2023 A3 (Tsuchinshan-ATLAS))が思い出されます。彗星の明るさの予測は難しく、実際にどのくらいまで明るくなるかは分かりませんが、これからが楽しみです。(守)



◀レモン彗星
(C/2025 A6 (Lemmon))
2025年9月4日2:40～2:54
25cm反射望遠鏡で撮影

星座小噺「英雄ペルセウス」

今回は秋の星座であるペルセウス座についてお話ししていきます。ペルセウス座はギリシア神話に登場する英雄ペルセウスの姿で、秋に輝く星座の多くと関わりを持っています。北の空に人の字に似た星の並びをしているのがペルセウス座の主な星です。

ペルセウスに関わる神話のあらすじと他の神話との関りを見てきましょう。神話の中でペルセウスは、怪物メドゥーサを退治しに出かけます。無事メドゥーサを退治したペルセウスの剣からメドゥーサの血が流れ、岩に染み込むと、そこから羽の生えた馬ペガス(ペガス座)が生まれました。ペルセウスは旅を終え故郷へ帰る途中、海岸で化けくじら(くじら座)に食べられそうになっていたアンドロメダ姫(アンドロメダ座)を助けました。

神話にはアンドロメダ姫の両親も登場しており、現在はケフェウス座とカシオペア座として空に輝いています。

星座の神話を見ていくと、星座同士の関りなどが見えてきて面白いです。星座同士の関係についてもぜひ、深掘りしてみてください。(寺)



天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より、開館時間が13:00～21:30となります。
- ☆ 10月6日(月)は特別開館、10月8日(水)は振替休館いたします。
- ☆ 年末年始12月28日(日)～1月3日(土)の期間は、天文台休館日となります。

プラネタリウム情報!!

- プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。
- 定員: 10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
 - 上映時間: 午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
 - 上映番組: 「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp